

【利用例③：医療対応が必要】



ここがポイント!!

- 医療対応が必要な方でも、1日でも多く自宅で生活ができるように支援します。
- 地域病院をはじめ、地域訪問診療・訪問看護との連携
- がん患者（末期含む）に対するターミナルケア
- 通院時の送迎を実施（但し、原則受診はご家族対応）
- 看護師が週5～6日勤務のため、幅広い医療対応が可能です

〔受入可の主な医療対応〕

- ・インシュリン
- ・在宅酸素
- ・人工肛門
- ・胃ろう/経管栄養
- ・人工透析
- ・ALS
- ・蜂窩織炎
- ・褥瘡
- ・人工呼吸器（CPAP等）
- ほか

利用例

Aさん：[たん吸引、ネブライザ]

| | | | | | | | |
|------|-------------|----|----|--------|--------------|-----|----|
| 性別 | 女性 | 年齢 | 75 | 要介護度 | 要介護4 | 認知度 | 無し |
| 病名 | 下咽頭癌、骨粗鬆症ほか | | | 主な医療対応 | たん吸引、洗浄、挿入補助 | | |
| 生活環境 | 娘（長女）家族と同居 | | | 医療連携機関 | 都内病院（耳鼻咽喉科） | | |



【利用例】

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------------|--------|--------|--------------|--------|--------|--------------|
| 自宅 (利用なし) | デイサービス | デイサービス | 自宅 (利用なし) | デイサービス | デイサービス | 自宅 (利用なし) |

- デイサービス：週4回 9:00～17:00 デイサービス利用日に、自宅より吸引器を持参される。

【ぼやあ樹での医療処置・様子】

- 自宅から吸引器を持参され、適時ご自身で痰吸引とネブライザを使用して痰絡みを取るようになっている。
- 奥の方などご自身で取りきれない部分は、看護師が綿棒ですくい出すようになっている。

【具体的な医療連携】

かかりつけとなる都内病院には、定期的な通院（1ヶ月に1度）を実施。通院時には、病院までの送迎、受診対応を含め全てご家族が対応となる。
後日、ご家族と主治医からの情報を共有して、より明確な医療情報を取得する。

Bさん：[人工呼吸器（マスク状のみ）]

| | | | | | | | |
|------|------------------------------|----|----|--------|------------------|-----|----|
| 性別 | 男性 | 年齢 | 89 | 要介護度 | 要介護2 | 認知度 | なし |
| 病名 | 心不全、狭心症、腎不全 人工呼吸器（CPAP）使用 | | | 主な医療処置 | CPAP使用時の見守り、服薬管理 | | |
| 生活環境 | 妻と義理の娘と同居 | | | 医療連携機関 | 地域病院（循環器内科） | | |



【利用例】

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------------|--------|--------------|--------|--------------|--------|--------------|
| 自宅 (利用なし) | デイサービス | 自宅 (利用なし) | デイサービス | 自宅 (利用なし) | デイサービス | 自宅 (利用なし) |

- デイサービス：週3回 9:00～17:00 デイサービス利用日、自宅よりCPAPを持参される。
(CPAPはご本人での装着が可能)

【ぼやあ樹での医療処置・様子】

- CPAP使用時に看護師による見守りを実施。
- 体操やレクリエーションなどは無理をしない程度に参加され、活動後や食後など1日4～5回は装着

【具体的な医療連携】

地域病院には定期的な通院（約1ヶ月に1度）を実施。通院時にはぼやあ樹利用日以外の日に、病院までの送迎を含め、全て家族が対応となる。